

玉手英夫 著

クマに会ったらどうするか

— 陸上動物学入門 —



岩 波 新 書

377



玉手英夫 著

クマに会ったらどうするか

— 陸上動物学入門 —

岩 波 新 書

377

玉手英夫

1922年東京都に生まれる

1947年東北帝国大学理学部生物学科卒業

専攻一家畜形態学

現在一東北学院大学教授，東北大学名誉教授

著書一「乳牛の科学」(共著，農山漁村文化協会)

「和牛屠体断面図譜」(共著，農林省草地試験場)

「科学の事典，第三版」(岩波書店)の恐竜の項担当

クマに会ったらどうするか

岩波新書(黄版) 377

1987年6月22日 第1刷発行 ©

定価 480 円

著 者 たま て ひで お
 玉 手 英 夫

発 行 者 緑 川 亨

〒101 東京都千代田区一ツ橋 2-5-5

発 行 所 株式会社 岩 波 書 店

電話 03-265-4111

振替 東京 6-26240

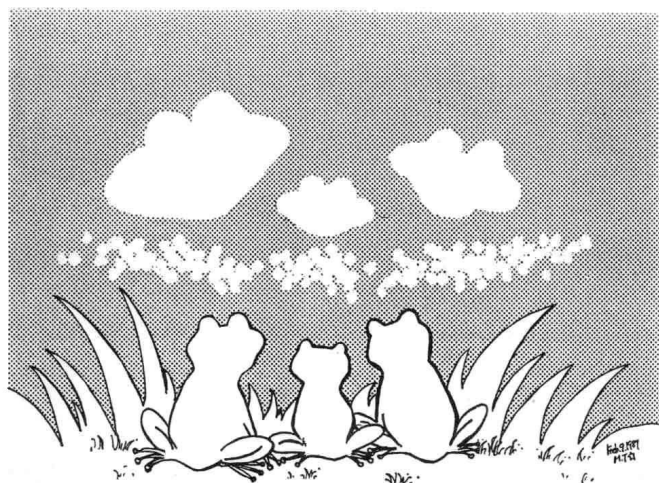
印刷・精興社 製本・田中製本

落丁本・乱丁本はお取替いたします

Printed in Japan
ISBN4-00-420377-5

目

次



1 羊膜類の上陸..... 1

ヒキガエルとヒメギフチロウ

背骨と乾かない卵

地の上を歩くけもの

2 陸上動物の分類..... 17

お母さん恐竜の発見

ヒッチコックのミステリー

ケンタッキー・フライド・恐竜

3 陸上動物の名前..... 28

ヤマネコと野良猫

プリンと分類の味

恐竜の迷惑

4 無用の長物..... 41

目 次

モンキー・ビジネス
株価と進化

5 陸上動物の出場所 49

樹の上から地上へ
なまけもののいいわけ
森のプライバシー

6 穴へ海へ 63

穴熊の立ち往生
アナウサギと地下鉄
ビーバーとカモノハシ
海に出る

7 展望と足場 75

視野とシジミチョウ

恐竜とスフィンクス

ゾウの行進

8 息を切らして飛び、息を詰めて潜る……………90

トリとスーパーマン

マウスとツバメの息づかい

ウミヘビのスキン・ダイビング

9 食欲の動機……………101

ニホンジカと芝居見物

走ることと跳ぶこと

10 陸上動物の食べ物……………111

ウシの背中のお茶会

ふろ桶とバスタブ

餌が流れる川

11	陸上動物の水気	123
----	---------------	-----

エレファント・トイレット

ラクダとアホウドリ

12	陸上動物のまとまり	135
----	-----------------	-----

素人とくろうと

天国に一番近い哺乳類

ボタンの掛け違い

13	猛獣との出会い	148
----	---------------	-----

クマに会ったらどうするか

パンフ国立公園のオオカミ

猛獣は人間が作る

14	家畜にする、家畜になる	162
----	-------------------	-----

なぜ殺すのか

天国に行く家畜たち

15

生きた化石と死んだ生物

.....

171

シーラカンスとリス

進化のバス停

16

恐竜の死

.....

181

ネメシスとゲネシス

恐竜の名誉回復

17

立って歩く陸上動物

.....

193

カリフォルニア・コンドルとコンコルド

直立歩行のつけ

人間になりそこねた恐竜

あとがき

.....

205

はじめに——この本の内容と舞台について

わたしたちのまわりで、人間と動物をめぐるさまざまな問題が起こっている。トキやコウノトリの問題のように、守らなければいけないことがはっきりしている問題もあるが、カモシカやサルのように、どうすればいいのか、わからないような問題や、おとなでさえ、はっきりしたことかわからない人が多いサファリパークや動物園などの問題もある。

それらの問題のおもなものについて、中学生の少女と高校の先生が、旅や会合でいろいろ学んでいくようすをたどってみよう。主人公の中学生、中島まゆみは、この本を手にするあなたがた自身の分身であり、また相手をつとめる先生がたは、著者であるわたしの分身と考えていただいてもよい。

動物と人間のかかわりや自然保護の問題は、自然や動物好きの人にまかせておけばよいことだと考える人が大人にも多い。また子供たちの中にも、動物や自然のことより機械いじりやSF小

説、運動競技のほうが好きだし、勉強なら生物や自然より、国語、数学、英語などのほうがだいじだと考えている人が多い。もちろん、そのような趣味や勉強もだいじだが、人間はもとも自然の中でしか生きられない生物の一種である。自然というと、ふつう、野や山を考えるが、都会も農村も、もとの自然（原自然環境という）を人間が住みやすいように作りかえた自然（人工自然環境という）である。つまり人間は自然から離れては暮らすことができない。

人工自然環境は、人間が住みやすいように人間が作ったものではあるが、そのやりかたがゆきすぎて光化学スモッグが発生したり、公害病にかかる人が多くなってきた。これは、人間が住みよいようにということばかり考えるあまり、人間以外の生物のことを考えないで人工自然を作ってきたからだ。このことから、人びとは、人間以外の生物がすめない環境では人間も住みにくくなるということに気づいた。そこで人間と野生生物がいっしょに住めるような工夫をすることになった。だが、これはとてもむずかしいことだ。なぜならば、人間は今まで自分たちだけのことを考えていればよかったのに、今度は自分たちとは姿も暮らし方もちがう他の生物のことも考えて、暮らし方をきめなくてはいけなくなったからだ。

人工の自然環境は、今、たいへんな勢いで都会から野へ山へと広がりはじめている。そのために野山にいる野生生物——動物だけでなく植物も——は生活の場をうばわれ、人間といざこざを起こすことが多くなってきた。そのいざこざを解決するには、一つだいいじなことを心に刻まなく

てはならない。それは、人間以外の生物の命も、もともと人間の命と同じように大切なものであり、かれらも人間と同じように、この世に生きる権利をもっているということだ。これは人間が野生生物といっしょに生きていくのに必要な新しい考え方である。

人びとは昔から時代が変わるとともに新しい考え方を身につけて生きてきた。だが新しい考えは人びとになじみがないので、初めのうちは誰も受け入れようとしなかった。しかし古い考えにしがみついていたのでは、人びとは生きていけなくなる。わたしがこの本に書いたことは、まだ世の中の人ぜんぶが受け入れている考えではないものもある。人びとは古い考えと新しい考えの間を行ったり来たりして苦しんでいる。学者も学生も、政治家も農民も都会にいる人も、みんなが野生生物といっしょにうまくやっていくには、どうすればいいか、迷い悩み、ある時はケンカし、ある時は仲直りして、何とか新しい生き方を身につけようとしている。

そのさまざまな悩みや苦しみの姿を自然保護の活動家と、それをめぐる人々との討論の形で示してみることにした。この物語の舞台となった全国自然保護連合の静岡大会は、一九八一年に静岡県で開かれた。講演や討論の内容、プログラムなどは、必ずしも静岡大会のものと一致していないし、討論の進め方は、ジュニアの読者にわかりやすいように変えてあるが、書かれた内容は全国の自然保護団体で、いつも熱心に討議されていることばかりで、大人のレベルの討論内容である。

本文とは別に、参考になると思われる説明や数字を途中に書いておいたので、それを読めば、さらに理解を深められると思う。もし、この部分を読むのがめんどろであれば、最初はとばして読んでいただいて、あとからゆっくり目を通すのもいいだろう。

新しい時代を生きていく諸君が、本書から、自然と人間とのあり方について、新しい考えを身につけていただければ、ありがたいと思う。

藤原英司

新装版まえがき

環境保護の問題が多くの人々の関心を集めた。だが、環境悪化や自然破壊が、ここ数年で急に起こったと思うのはまちがいである。この本は今から十年前に書いたものだが、今でも、ここに書かれた問題は解決していない。それどころか問題によっては、ますますこじれたり、悪化したり、わかりにくくなったりしたことがある。いずれも私たちの身近で起きていることなので、本書は、みなさんの日常生活を見直していただくのに役立ってくれると思う。

しかし、この十年の間にデータ面で変化しているものもあるので、それらについては解説追記で明らかにしておいた。

一九九一年八月

藤原英司

はじめに

I 動物たちのSOS

1	梅雨の朝……………	14
2	爪を抜かれたライオン……………	20
3	動物園の繁栄のかげに……………	25
4	汚染された水源……………	31
5	ワシントン条約……………	37
6	アメリカバイソン……………	46
7	ひろがる動物殺し……………	51

Ⅱ 毒をばらまく

8	農薬爆撃 ^{ばくげき}	58
9	へらない松枯れ ^{まつが}	63
10	日やけした女性.....	67
11	包丁 ^{はうちょう} がこわい.....	73
12	浮き上がった魚.....	79
13	パンクする貯金箱 ^{ちぎんばこ}	86
14	毒ガスの通学路.....	89
15	ダルマのサル.....	92

Ⅲ 畑荒らしの仕掛け人^あ

16	頭にくる話.....	102
17	サルか人か.....	107

IV

追いつめられるカモシカ

29	28	27	26	25	24
南洋の木を北極に………	追いつめられるカモシカ………	まぼろしの生息数………	ゼンマイジカ………	トンボのように………	戦争と平和………
181	173	167	161	156	150

23	22	21	20	19	18
見えない仕掛け人………	自然という大学………	知恵くらべ………	サルの餌代………	下北のニホンザル………	頭の骨に穴をあける………
142	136	128	123	119	114